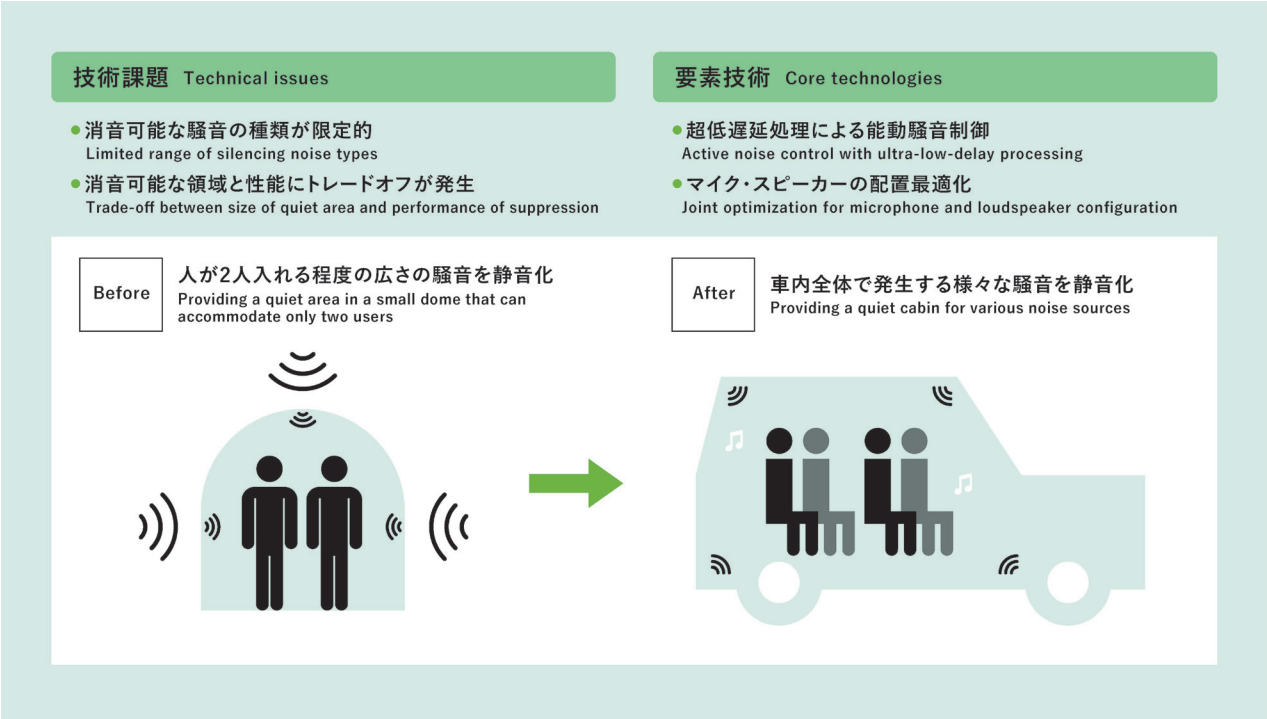
#健康・ウェルビーイング #アクセシビリティ

複数のユーザを含む空間を包み込むように静かにし、喧騒から解き放たれます

騒音空間を操る能動騒音制御技術

背 景 －技術課題

さまざまな騒音が想定される多様な空間において、全員が安心安全に快適に楽しく活動できるよう、あらゆる騒音を空間的に制御し静音化するのは従来の技術では困難でした。



研 究 目 標 －成果

多様なワーク・ライフスタイルを選択できる現代において、騒音によるストレスや集中力低下といった社会的課題を、空間的な能動騒音制御技術により解決します。自然さを保ったまま静音性が確保された空間の実現により、あらゆる人に対し難聴リスクの低下という価値を提供できます。

技 術 ポ イ ン ト

01 要素技術

- 時々刻々と到来し、壁や天井で反射する騒音の波面を推定する音場推定技術
- 推定結果から逆位相の波面を合成する音場合成技術
- 超低遅延技術で上記2つを組み合わせ騒音を低減

02 市中技術差異点

- スピーカーとマイクの効率的な配置により市中技術よりも高い音の騒音にも対応
- 複数人が同時に入っても人に邪魔されず騒音制御を続けることができ、かつリアルタイムで動作する能動騒音制御技術は世界初

利用シーン	交通・運輸	**R&Dフェーズ**	研究
技術確立予定時期	FY2027	**ビジネス化予定時期**	FY2027

【出展企業】
NTT株式会社　コンピュータ&データサイエンス研究所

【問い合わせ先】
メディアコンピューティング研究プロジェクト

【共同出展社/社外連携先】
－

【関連Link】
－